

(社) 日本コンクリート工学会四国支部  
第1回「四国のコンクリート構造物インフラドックの実現に向けた調査研究委員会」  
議事録 (案)

1. 日 時：平成27年8月3日(月) 14:00～17:00
2. 場 所：徳島大学工学部建設棟5F A508
3. 出席者：渡邊委員長，朝倉，石井，上田，小原，近藤，佐藤，塚越，中川，橋本，林，原田，堀井，水口，宮武，横田，山田の各委員(敬称略，順不同)以上 17名
4. 配布資料：
  - 1-0 第1回「四国のコンクリート構造物インフラドックの実現に向けた調査研究委員会」議事次第
  - 1-1 「四国のコンクリート構造物インフラドックの実現に向けた調査研究委員会」委員一覧
  - 1-2 研究委員会の委員公募について
  - 1-3 「コンクリート構造物のインフラドック構築フィージビリティ調査研究委員会」論文集，委員会報告書(2015.7.30付け)
  - 1-4 第1回「四国のコンクリート構造物インフラドックの実現に向けた調査研究委員会」議論・方向性についてのたたき台
5. 議 事：
  - (1) 委員長挨拶  
渡邊委員長から，第1回委員会開催にあたっての挨拶があった。
  - (2) 委員自己紹介  
資料1-1により現在の委員構成が紹介されるとともに，各出席委員から自己紹介があった。
  - (3) 委員公募について  
渡邊委員長より資料1-2に基づいて本委員会の委員公募について説明があった。
  - (4) 話題提供：1 「コンクリート構造物のインフラドック構築フィージビリティ調査研究委員会」について(渡邊委員長)  
渡邊委員長より，資料1-3に基づいて本委員会の親委員会である「コンクリート構造物のインフラドック構築フィージビリティ調査研究委員会」の活動内容について説明があった。
  - (5) 話題提供2：「四国のコンクリート構造物インフラドックの実現に向けた調査研究委員会」議論・方向性について(渡邊委員長)  
渡邊委員長より，資料1-4に基づいて四国の特徴と現状の課題，維持管理限界の設定や啓蒙活動をどのように展開していくかなど話題提供があった。
  - (5) 話題提供3：土木学会350委員会「コンクリートの品質確保小委員会」の取組み(林委員)  
林委員より，パワーポイントを用いて「土木学会350委員会 コンクリートの品質確保小委員会」の活動に関する紹介があった。
  - (5) その他，フリーディスカッション中での話題，意見や要望など
    - ・本委員会で調査対象となる構造物について，既設構造物から新設構造物までを取り扱うのか。
    - ・農業用土木構造物のように特定の利用者が利益を享受する構造物も対象となり得るのか。
    - ・重要構造物と一般構造物では保全の仕方が異なるが，これらに対しどのようにアプローチするか。
    - ・道路メンテナンスにおいては，点検業務や診断業務の重要性が高まっている。
    - ・本委員会でのインフラドックの活動がどう活用されるのかまでの見通しを示す必要がある。
    - ・本委員会の調査結果を踏まえてどのように構造物を維持管理すべきかを，利用者の判断や説明責任に生かせるような視点も必要ではないか。
  - (6) 委員会活動方針と今後の予定  
調査対象とするコンクリート構造物(既設か新設なのか)や，調査結果を構造物の利用者にどのように還元するのかを明確にしておく必要がある。また，次回委員会は11月下旬を予定している。

報告者：山田  
以 上